



減らそう犯罪通信

令和2年12月号

発行・編集

広島県警察本部
生活安全総務課
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(228)1109

統計

広島県内の犯罪の発生状況

令和2年(1~11月)

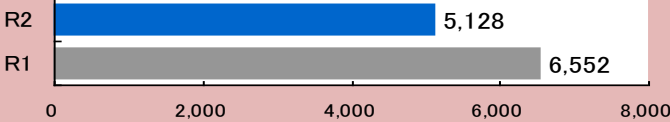
刑法犯総数

目標(～R2)
年間 17,000 件以下



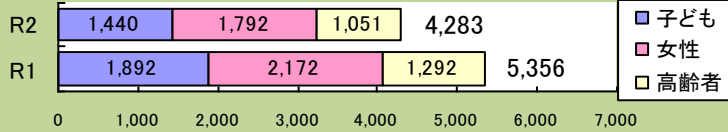
身近な犯罪

目標(～R2)
年間 8,500 件以下



子供・女性・高齢者被害の刑法犯

目標(～R2)
年間 7,000 件以下



特殊詐欺の被害状況(架空請求詐欺・還付金等詐欺など)

| 区分 | 認知件数 | | 被害額 | |
|------|-------|-------|------------|-----------|
| | 前年同期比 | 前年同期比 | 前年同期比 | 前年同期比 |
| 特殊詐欺 | 128件 | -34件 | 約2億2,449万円 | -約5,920万円 |

目標(～R2) 年間 5億円以下

※「身近な犯罪」とは、乗り物盗、街頭犯罪、侵入強・窃盗、性犯罪の4類型14罪種の総称です。

ちょっと教えて!!

犯罪情報官



「だるまさんが転んだ」で年末防犯

年末は、犯罪が多発する傾向にあります。空き巣や特殊詐欺への対策に加えて、ひったくり、置き引き、路上強盗など、街頭での犯罪にも注意が必要です。

犯人は、あなたのカバンや財布を盗もうと、あなたの後を付けて隙を狙っています。人の気配、自転車やバイクが近づく音が聞こえたら、子供の頃に遊んだ、

「だるまさんが転んだ！」

のように、パッと後ろを振り返り、警戒心を示すことは、とても有効な対策です。

最近の子供たちは、この遊びを知らないそうです。冬休みに一緒に遊んで、楽しみながら、背後を警戒する意識を養ってはいかがでしょうか。



がんばれ! まちの防犯ボランティア



MTPB プロジェクト

～広島中央～

MTPBプロジェクト(弥生町交番作戦: マーチ・タウン・ポリス・ボックス)は、平成15年に発足し、20名の会員で活動しています。主に歓楽街における犯罪予防、交通安全対策を主眼としたパトロール及び歓楽街の事業者等に対する啓発活動を積極的に推進しています。



豊平防犯組合連合会青色防犯パトロール隊

～山県～

豊平防犯組合連合会青色防犯パトロール隊は、平成25年に発足し、14名の会員で活動しています。主に豊平地区全域に対するパトロールを実施し、安全・安心なまちづくりに貢献しています。

この年末も、「我が町から犯罪を発生させない」との意気込みで、年末警戒一斉パトロールを計画しています。



大竹市防犯連合会は、近年、悪質なあおり運転等の社会問題化によりドライブレコーダーの普及が急速に進み、事件・事故等の解決に欠かせないツールとなっていることを受けて、青色防犯パトロール車を保有する3団体にそれぞれ2台ずつ、計6台のドライブレコーダーを無償で貸与しました。

貸与式では、同連合会事務局長が青色防犯パトロール車を保有する大竹市、栄町を明るくする会、少年補導協助手連絡協議会にドライブレコーダーを手渡しました。受け取った大竹市の職員等から、「事件・事故の早期解決に貢献したい。」との声が聞かれました。



第19回広島県「減らそう犯罪」推進会議の開催結果



11月24日、県庁東館大会議室で、県民、事業者、防犯ボランティア、行政機関の代表など委員31名出席のもと、第19回広島県「減らそう犯罪」推進会議が開催されました。

会議では、警察本部から広島県内の犯罪情勢についての説明後、来年1月1日から始まる次期アクション・プラン（最終案）が審議され、全会一致で承認されました。

委員からのご意見（抜粋）

赤川委員

学生防犯ボランティア団体の一員として活動しているが、特殊詐欺の寸劇や広島駅前で防犯キャンペーン等を通じて自らの防犯意識も高まった。このように実際に体験することで防犯意識の向上が図られると思う。安全安心の担い手として、これからも取り組んでいきたい。

佐藤委員

女性会は、登下校時の挨拶運動、下校時の防犯パトロール、見守り活動など地域に密着した活動と犯罪抑止力の効果が高い「美しい環境づくり」に取り組んでいる。また、特殊詐欺防止にも継続して取り組んでおり、今後も安全安心で楽しく住み続けることができる地域づくりに貢献したい。

植野委員

平成29年度の県政世論調査で、「安全・安心な生活を送るために犯罪の取り締まり以外に取り組んで欲しいことは何か。」との質問に対して、約半数の方が「公共空間への防犯カメラ等の設置」と答えている。広島県生活安全防犯協会としても、各町内会等への防犯カメラの設置を促していきたい。

相原委員

新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン会議やテレワーク等が急速に普及したが、同時に以前から放置されていたネットワークの脆弱性もあぶり出された。サイバー犯罪関係については、情勢に応じて随時、追加の対策等を講じていくことが重要である。

次期アクション・プランの概要

- 【名称】
「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン
- 【計画期間】
令和3年から令和7年までの5年間
- 【運動目標】
住む人 来る人 誰もが
日本一の安全安心を実感できる広島県の実現
(推進指標)
 - ・ 刑法犯認知件数の縮減・・・12,000件/年以下
 - ・ 体感治安の向上・・・治安良好と感じる人の割合90%以上
- 【安心感を高める重点的な取組】
 - ・ 不安を感じる犯罪の抑止・・・不安を感じる犯罪（8罪種）の認知件数5,500件/年以下
 - ・ 子供・女性・高齢者等の安全確保・・・子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数4,800件/年以下
 - ・ 特殊詐欺被害の抑止・・・特殊詐欺の年間被害総額2億円以下
 - ・ インターネット利用犯罪被害の防止・・・フィルタリング（スマートフォン）の使用率37%以上

来年から次期プランがスタートします。
みんなで取り組みましょう。



平成28年～令和2年

「めざそう！
安全・安心・日本一」

ひろしまアクション・プラン

運動目標

県民だれもが穏やかで幸せな暮らしを実感できる
日本一安全・安心な広島県の実現

重点項目

- 身近な犯罪被害の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 新たな犯罪脅威への対応



犯罪発生マップ

あなたのまちの犯罪発生状況がマップで分かる！

